

平成28年度予算額 1.4億円
(平成27年度予算額 0.9億円)

1. 背景・目的

グローバル化の進展や生産年齢人口の急減など、今後厳しい時代を乗り越え、新たな価値を創造していくためには、大学入学者選抜において、十分な知識・技能はもとより、思考力・判断力・表現力や主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度など、「確かな学力」を多面的・総合的に評価する必要がある。

「知識・技能」を問う問題が中心の
現行の大学入試センター試験



十分な「知識・技能」の習得に加え、「思考力・判断力・表現力」を中心に評価する「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」を導入するため、「高大接続システム改革会議」の議論を踏まえ、テストに係る作問イメージ（モデル問題）の作成や、それらの信頼性・妥当性について実証的な検討を行う。

2. 実施内容

1. 大学入試の過去問の分析
2. 新テスト試作問題の作成及びモニター調査の実施
3. 記述式やC B Tの導入等に向けた実証的な検討

3. 達成目標・成果

- 十分な「知識・技能」の習得に加え、「思考力・判断力・表現力」を中心に評価するためのモデル問題の作成
- 実証的な検討を踏まえ、記述式やC B Tの導入等に向けたよりよい実施方法等を検証